

アル・アクサ洪水第602日目：共同作戦 | パレスチナ停戦協議 | ハーン・ユーニスでの虐殺

Palestine Chronicle、2015年5月30日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルがガザでの虐殺を続けている。(Photo: social media, via QNN)

主要事項

*今日30日。イスラエル軍がガザ回廊南部のハーン・ユーニス西のマワシ地区にある避難民のテントを空爆し、少なくとも2人が死亡し、数人が負傷した。

*ガザ回廊南部でパレスチナ・レジスタンスとの戦闘でイスラエル兵一人が重傷を負ったとイスラエル軍が発表した。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエルのガザ攻撃により54,321人が死亡し、123,770人が負傷した。

最新情報

5月30日 11:48 pm (パレスチナ・時間)

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団は、ガザ市で共同レジスタンスとしてイスラエル軍を待ち伏せ狙撃攻撃した模様の映像を流した。敵に多大の損害を与えたと述べている。[\(“Stones of David: Third Operation Broadcast as Resistance Escalates Attacks”, Palestine Chronicle, May 30, 2025\)](#)

*パレスチナ・メディア：西岸地区ラマッラーの西の町ベイト・リーマをイスラエル占領軍が襲撃、地元のパレスチナ人の若者が反撃し、戦闘となった。

*Walla (イスラエルのネットニュース・サイト)：イスラエル政府の高官は、イスラエルはアラブ諸国外務大臣一行 — サウジアラビア、エジプト、ヨルダン、UAE、カタール、トルコ — の自治政府 (PA)管轄地区への入域を許可しない決定をしたと言った。

5月30日 10:30 pm

*パレスチナ・クロニクル：国連の人道問題担当事務次官のトム・フレッチャーはイスラエルがガザ住民に人為的に強制する飢餓は戦争犯罪になると述べた。「国境の向こう側に飢えた人々がいて、国境のこちら側に食料を用意しているのに、搬入を拒否されている。イスラエル政府閣僚は、これはガザ住民に対する圧力だと言っている」と、今日30日BBCのインタビューでフレッチャーが語った。彼は国連人道問題担当事務次官で緊急援助調整官である。

5月30日 10:16 pm

*パレスチナ・クロニクル：ウォールストリート・ジャーナルの報道によれば、米国・イランの交渉が進む中、イスラエル当局は、トランプ政府はイランの核濃縮プログラムを制限しないで、イスラエルのイラン攻撃選択肢を制限する合意をするのではないかと懸念している。

5月30日 10:08 pm

*アル・ジャジーラ：トランプは「ガザで合意に達する寸前である。今日か明日にでも合意達成の発表ができるかもしれない」と言った。

*アル・クッズ旅団：我々はハーン・ユニス南東部のアル・ファハリ地区で、迫撃砲で敵兵と軍用車両の集合体を攻撃した。

*チャンネル12：イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長は「捕虜交換のための停戦は可能である。我々はいつまでも戦争を長引かせるつもりはない」と述べた。

*ハマス声明：我々は仲介国を通じて得たウイトコフ特使の停戦提案をレジスタンス各派と協議している。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊のパレスチナ部族・名門家系の集合体は、アル・ザウイヤのアメリカ野戦病院への攻撃を非難した。彼らはアメリカ病院を攻撃した連中は「占領軍の手先で路上強盗だ」と言った¹。

*ハアレッツ：情報筋の話では、「イスラエル軍の軍事行動は54人の人質を危険に晒し、すでに20人がイスラエルの爆撃で死亡した」という。ハマスは人質の監禁場所を変えるので、イスラエル軍情報部は人質の居場所が分からない。前に合意で解放された8人の人質は、自分たちが居た場所がイスラエル軍の砲撃を受けたと語った。情報筋は、人質の生命への脅威を防ぐ努力が行われているとは言えないと語った。

*ロイター通信：ドイツ外相は、ドイツ政府はガザの人道状況の評価に基づいてイスラエルへのさらなる武器供給を許可すると述べた²。

*ガザ保健省：2023年10月以降の死者数は54,321人、負傷者数は123,770人となった。

5月30日 5:21 pm

*イエディオト・アハロト：15か月間ガザで兵役を経験した6人のイスラエル兵が極度の疲労を理由にガザ戦場への復帰を拒否した。

*アル・ジャジーラ：レジスタンスの治安関係者がアル・ジャジーラに語ったところによると、秘密工作隊 (ムスタリビーン) はレジスタンス戦士の監視・殺害・援助物資略奪などを行う占領軍の工作隊であることが判明した。彼らは「ヤセル・アブ・シャバーブ」団に属して、ラファで占領軍に協力していると、治安関係者が言った。彼らがパレスチナ人であろうとパレスチナ人に扮したイスラエル人であろうと、レジスタンスの影に身を隠そうとしても、レジスタンスは作業者とその関係者を厳しく扱うと言った。

*ハマス声明：ハマスはネタニヤフ政府がガザの人道的悲劇をどんどん拡大していることに国際社会が何らの行動もしないことに警告を発した。ハマスは国連安全保障委員会にイスラエルの攻撃を止め、封鎖を解除させ、国連のメカニズムで支

¹ ガザで戦争犯罪を行うのはイスラエル正規軍だけでなく、パレスチナ人やアラブ人に変装して情報収集や暗殺や破壊工作を行う「ムスタリビーン」と呼ばれるイスラエル工作員がいる。

² ドイツはスペイン主導のEUのイスラエル批判に歩調を合わせていたが、武器禁輸に関してはイスラエルの抗議を受け、両外相会談の後、態度を変えたようだ。

援物資配給を行わせるという本来の義務を果たせと要求した。またハマスはアラブとイスラム諸国にガザ・ジェノサイドを終わらせる圧力をかけ、ガザの人々を救う援助物資を送ることを要望した。

5月30日 3:40 pm

*ユニセフ：国連児童基金 (UNICEF)は2023年以降5万人を超える子どもがガザで死傷しており、これは20分に1人という割合であると発表した。ガザでは飢餓、ひどい人暴力、援助物資へのアクセス妨害、学校や病院の破壊が行われていると付言した。

*アル・ジャジーラ (アル・アクサ殉教者病院の関係者情報として)：ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフ市へのイスラエル軍の攻撃でパレスチナ人2人が死亡し、他に負傷者も出た。

*フィンランド外務省：我々は西岸地区に22の新入植地の建設をイスラエル政府が承認したことを非難する。

*アル・ジャジーラ (医療筋を引用)：今日明け方からのイスラエル軍のガザ回廊攻撃で28人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・クッズ旅団：我々は、アル・カッサム旅団との共同作戦で、ハーン・ユーンのヨーロッパ地区へ侵攻してきたシオニスト軍を撃退した。彼らを対人砲で襲撃し、その後至近距離で戦闘した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・カッツ国防大臣は西岸地区の新入植地建設はパレスチナ国家を文書の形で承認しよとしているマクロンとその一派への我々からのメッセージだと述べた。

*ワシントン・ポスト：ヨーロッパ外交筋は、EU高官がネタニヤフへの忍耐の限界に達し、不満が増大していると言っている。ネタニヤフ政府が態度を変えないと、ヨーロッパのイスラエルの圧力が増大し続けるだろうと言っている。

*パレスチナ・メディア：ガザ市南東のアル・ザイトゥーン地区のアル・ファラフ学校付近へのイスラエルの爆撃跡からパレスチナ人1人の遺体が回収された。

*ドイツ・メディア：ドイツ緑の党の党首は「ドイツがイスラエルへ送る武器を国際法に違反する形で使用されてはならない」と『デア・シュピーゲル』の取材で語った。

5月30日 10:20 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル・カッツ国防大臣は、欧州諸国の間でパレスチナ国家を公式承認する気運が高まっているのを強く非難し、「我々は現地にユダヤ国を建設する」と宣言した。さらに、「彼らは文書の形でパレスチナ国家を承認するが、我々は現地にユダヤ国を建設する。文書なんかは歴史の屑箱に捨てられるだけで、我らのユダヤ国は栄え繁栄する」と述べた。

5月30日 3:40 pm

*アル・クッズ旅団：昨日ハーン・ユーンで民家を占拠して軍事拠点にした10人のイスラエル部隊を攻撃して被害を与えた。数機のヘリコプターが現場に着陸する光景を目撃した。

*チャンネル12：イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長は非公開会議で「ガザで捕虜高官で停戦すれば、イスラエルはイラン攻撃に専念できる」と述べた。

*ロイター通信：国連人道問題事務所の報道官は、この2週間でガザでは20万人の人々が避難で住処を追われ、しかも彼らは飢餓の危機に面していると述べた。

5月30日 1:11 pm

*怪しげな「ガザ人道財団 (GHF)：軍に包囲されたガザ沿岸地域の人道支援の民営化は陰謀である。一方でジェノサイドをやりながら民営人道支援の名目で「ガザ人道支援財団」(GHF) 設立というのは何か恐ろしいことが予測される。これはイスラエル軍が発明したもので、ガザの完全破壊のレシピである。ロバート・インラケシュの論文を読みたい。

[\(Robert Inlakesh, "ISIS, CIA and the GHF: Israel's New Frontier of Contrpl through Hunger", Palestine Chronicle, May 30, 2025\)](#)

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区のジェニンのジャバ近くにある2005年に避難して放棄したタルサラ前哨基地を再占領して、再び不法入植前哨基地にした。

*アル・ジャジーラ：トルコのハカン・フィダン外相は「我々はガザの戦争を終結させ、完全な停戦を実現し、人道支援物資を届けたい」と言った。

*UNRWA：UNRWAの報道助言者はアル・ジャジーラの取材に対して、「ガザの飢饉に立ち向かう本気な政治的意志は存在しない」と述べた。そして、「我々は物資を配給する用意をしているが、イスラエルはパレスチナの大義を潰す序曲としてUNRWAを潰そうとしている」と語った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍のガザ市西のアル・マリア交差点一帯への砲撃で、数人のパレスチナ人が負傷した。

*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊攻撃で18人が死亡した。

*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：ネツァリム回廊の米国民間会社の援助物資配給センターへ行こうとしていた人々をイスラエル占領軍が銃撃し、20人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍のジャバリヤ難民キャンプへの砲撃で2人が死亡した。

5月30日 10:58am

*アル・ジャジーラ：ガザのNGOネットワークの代表はアル・ジャジーラの取材に対し、援助物資配給所として軍事拠点を設置するのは、住民を他所へ移住させることを狙った圧力であると述べた。彼は以前の国連の配給メカニズムに戻る必要があると力説した。彼はガザ回廊が3か月間の封鎖のために飢えと渇きが進行した段階にあると言った。彼は国際社会に人道的支援メカニズムを復活させて、軍隊の似非救援メカニズムを排除するようにイスラエルに圧力をかけて欲しいと要望した。

*アル・ジャジーラ：ガザの病院関係筋はガザ市北部のアッスフタウィ地区への「イスラエル軍の砲撃で3人が死亡した」とアル・ジャジーラに語った。

*イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣はガザに全力で軍事介入してハマスを殲滅すべき時だと言った。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊北部のジャバリヤ・アル・バラードの住宅をイスラエル軍が空爆、数人が負傷した。

5月30日 1:11pm

*パレスチナ・クロニクル：昨日イスラエル占領軍は、パレスチナ知識人の故ワリド・ダッカの未亡人サナア・サラマ・ダッカが、エルサレムのバーブ・アル・アルムード地区で娘のミラードといっしょにいたところを、身柄拘束した。この逮捕は、極右のイタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣が彼女の国外追放を要求してから数時間後に行われた。ハマスの囚人メディア・オフィスによると、サナアはイスラエル警察に身柄拘束され、尋問センターへ移送された。

*パレスチナ・クロニクル：アンサールッラが発射したミサイルでサッカー・イスラエル・ステート・カップ決勝戦が中断し、ベン・グリオン空港の航空機の発着陸を乱した。

5月30日 10:58am

*UNRWA：ガザ回廊は緊急人道支援を必要としており、救援物資は妨害や途切れなく流れなければならない。アンマンのUNRWA倉庫には、小麦粉、食料パック、衛生用品、毛布、医薬品など、ガザの20万人以上の人々を1か月間食わせるに足る物資があり、配送を待っている。

5月30日 8:19am

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍がラファ市北西部ノショクーシュ地区を砲撃し、1人が死亡し、数人が負傷した。

*AFP通信：フランスのエマニュエル・マクロン大統領は、「ガザにおける人道支援に進展が見られない場合は、我々はイスラエルに対して強い姿勢を取らなければならない。パレスチナ国家を条件付きで承認することは道徳的義務であり、政治的要請である」と述べた。

5月30日 7:28am

*カン：イスラエル軍調査で、2023年10月7日ウリム入植地の防衛態勢が適切に準備されていなかったことが明らかになった。ウリムの戦闘では兵士と指揮官8人が死亡し、かなりの負傷者が出た。

*ガーディアン：オーストラリアのデービッド・ポーコック上院議員は、ガザで起きているのは「恐ろしい」と言うだけでは惨状の規模を十分に伝えきれないと言った。目撃されているのは「まさにジェノサイドのようだ」と断言した。上院議員は、ガザの残虐行為は最後の一线を越えたもので、オーストラリア政府は断固たる行動をする必要があると述べ、ガザの民間人に使われるかもしれないのでイスラエルへの武器輸出をやめることを要求した。

*イスラエル・メディア：昨日ガザ回廊南部の戦闘で兵士一人が重傷を負ったと、今日イスラエル軍が発表した。

5月30日 5:18am

*パレスチナ・メディア：今日夜明けに、ハーン・ユーニス西のアル・マワシ地区の避難民のテントへのイスラエル軍の攻撃で、パレスチナ人2人が死亡、数人が負傷した。

5月30日 5:17am

*チャンネル12：トランプ大統領は、イスラエルがイランの核施設を攻撃して、米国とイランの交渉に支障をきたす恐れがあるとして、イスラエルとの軍事協力の停止を命じた。最近トランプ大統領はネタニヤフ首相と電話会談を行い、イランの核施設へ一方的な攻撃を行わないようにと「厳しい口調」で言った。トランプ大統領は今の時点でイランを攻撃するのは「不適切」で、せつかく可能性がある核合意のチャンスを潰すことになると考えているようである。

5月30日 5:15am

*パレスチナ・メディア：今日未明、ガザ地区南部ハーン・ユーニス西部のマワシ地区で、避難民のテントがイスラエルに空爆され、パレスチナ人1人が死亡し、他の何人かが負傷した。